

2023年11月5日

北実会 2023 年度

総 会 議 案 書

(2023年10月1日～24年9月30日)

と き : 2023年11月5日(日) 13:30～16:00

と ころ : 白井まちサポ会議室



京成株主総会前宣伝 (2023年6月29)



北総線の運賃値下げを実現する会

議案 1. 2022 年度活動報告・収支決算報告・会計監査報告

2022 年度活動報告（2022 年 10 月～2023 年 9 月）

2022 年度は、永年の懸案であった「北総線運賃の値下げ実施」とともに始まりました。2022 年 10 月 1 日から、通学定期の 3 分の 1 への値下げを始め、メタボ運賃のほぼ解消、平均では 15.4%の値下げが実施されました。通学定期値下げは画期的なものでしたが、普通運賃は京成本線の 2 倍という高さであるのは、ご存じの通りです。

今回の値下げをどう見るかですが、①北総鉄道始まって以来の自ら値下げであり、角度を変えてみると ②北総鉄道室谷社長(当時)が再三強調された「皆さんの運動が値下げ決断の後押しとなった」という見方です。運動を進めてきた立場として沿線の皆さんから喜んでいただいたことと共に、事業者側から評価されたことは喜ばしいことと思います。

値下げも線路使用料契約変更も 2023 年 3 月期決算で、半年分が反映します。半年の実績では線路使用料契約変更についてはなんとも言えない状況です。しっかりした評価は 2024 年 3 月期決算を見ての評価と言うことになります。なお、北総鉄道の 2023 年 3 月末の決算では繰越損失を解消し、3 億円弱の利益剰余金を計上しました。

また、今回の値下げの衝撃は、マスコミ各社からも注目され新聞各紙報道と共に、千葉テレビでは 2022 年 9 月 28 日に約 7 分間特集報道されたことにも示されました。

<北実会が取り組んできた主な活動等>

1) 北総鉄道との懇談をしばしば持ち、意見交換をしてきました(2021 年度 3 回(2021 年 12 月 2 日、2022 年 1 月 17 日、同年 6 月 1 日) 2022 年度 2 回(2023 年 1 月 20 日、同年 8 月 2 日) 特に今年の 8 月 2 日の懇談は、新社長の持永氏、新会長の室谷氏との懇談となり、この種の運動体が事業者側とのパイプを維持できているというのは画期的なことであると言えます。

2) 北総鉄道株主総会に当たって

今年も沿線 6 市長と知事への「株主総会で運賃値下げ問題について発言してもらいたいこと」を要請。結果は白井市、印西市、鎌ヶ谷市だけの発言でした。

3) 北総・京成株主総会へ向けての宣伝

今年も北総本社前での行動は控えました。また京成の株主総会会場前では、今年も宣伝(チラシ、音出し、横断幕など)を実施しました。



4) 市民への訴え

白井ふるさと祭り、白井まちサポひろばなどの機会を捉え、来場者へのお知らせに取り組みました。

5) 北実会では、運動を支えるために、月 1 回(第 1 水曜日)定例会を開催しました。また、定例会では勉強会も実施し参加者の気持ちをひとつにすると共に、次の値下げへ向けての研究にも努めました。

6) 対自治体、対北総意思疎通を良くするため、自治体への申し入れだけでなく、面談も重視しました(印西市長・白井市長は公式懇談以外にも非公式な意思疎通を持つようにしています。北総鉄道(株)室谷会長、持永社長とは夫々 2 回 1 回)

末尾になりますが、北実会の活動資金を提供していただいた自治会・町内会、そして個人の皆様に厚く御礼申し上げ、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

北実会関連一年間の流れ（2022年10月～2023年9月）

年	月	日	会独自活動	裁判関連・生活バス	対自治体・対議会	対国・消費者委員会	対北総・京成・バス
	10	1					北総線一部値下げ実施
		5	北実会定例会				
		12	会計監査				
		13	議案最終確認のための拡大役員会				
		15	総会議案発送				
		16			板倉市長10周年記念の集い(文化ホール13:30～)		
		22	白井ふるさと祭り(22, 23日)				
		29	北実会総会				
11	2	北実会定例会					
		9	自治会等への報告と寄付依頼発送				
		27	まちサポひろば				
12	7	北実会定例会					
		11			中銀自治会への訴え		
23	1	4					北総社長から年末のあいさつ電話受け
		11	北実会定例会				
		20					北総鉄道訪問
2	1	北実会定例会					
		3			白井市笠井市長が会との面談拒否		
		22			板倉市長との懇談		
3	1	北実会定例会					
4	5	北実会定例会					
		30					北総春祭り(中央のイオン駐車場で大盛況)
5	10	北実会定例会					
		21	鉄道・運輸機構から北総鉄道の残債等のデータ到着				
6	5	北総事業報告書開示請求					
		7	北実会定例会				
6	14	北総へ詳細説明求める要請、各首長へccで届け					
		23					北総鉄道株主総会
		26			笠井市長白井議会で株主総会報告		
		29					京成電鉄株主総会前宣伝12名参加
7	5	北実会定例会					
		6	鎌ヶ谷市から復命書入手				
		7	北総社長へ面談申し入れのレター一届け、夕方金田部長より会うとの返事				
		12	県から復命書入手				
8	2	北実会定例会					北総鉄道との懇談14:00～
9	6	北実会定例会					
		8	北総関連3社鉄道事業報告書入手				
		9	まちサポひろば2023 本番				
		20	北実会HP維持費払い込み5600円余				

2022年度決算報告

(2022年10月1日～2023年9月30日)

北総線運賃値下げを実現する会

単位:円

収入の部

項目	2022年予算	2022年度実績	摘要
前年度繰越金	302,890	302,890	
会費	90,000	116,000	58名分×2000円(他2名前年納入済)
寄付金・協賛金	100,000	95,888	詳細は下記
補助金	0	0	
受取分担金	0	0	
受取利息	2	2	
合計	492,892	514,780	

支出の部

項目	2022年予算	2022年度実績	摘要
講演会他	50,000	0	
会議費	10,000	4,760	定例会・役員会会議室利用料
ニュース作成費			発行のチラシ用紙代・印刷代
用紙代	0	0	
印刷代	215,000	6,400	
配布費	50,000	0	チラシ折込料
資料費	10,000	2,962	関係市町村、国土交通省資料コピーなど
宣伝費、広報費	20,000	5,610	HP維持管理費他
事務用品費	10,000	13,021	封筒代、領収書、プリンタインクなど
事業費(参加費他)	20,000	50,422	イベント参加費用
交通費	20,000	940	駐車場代、ガソリン、電車代など
通信費	20,000	6,480	はがき代、郵送代
予備費	10,000	0	
支出合計	435,000	90,595	
次年度繰越金	57,892	424,185	
総合計	492,892	514,780	

次年度繰越実績金額内訳		寄付金の詳細	
現金	161,462	中銀白井マンション自治会	20,000
銀行総合口座	262,723	南山第1住宅管理組合	5,000
郵便振替口座	0	桜苑壱番街自治会	5,000
		千種自治会	5,000
合計	424,185		
	0	団体寄付金合計	35,000
		個人寄付金合計	60,888
		寄付金の合計	95,888

北総線の運賃値下げを実現する会

会長 太田 誠 様

2022年度 会計監査報告書

私は「北総線の運賃値下げを実現する会」会則第10条に基づき、2022年度

(2022年10月1日～2023年9月30日)の会計書類等について監査を

行いましたので、以下の通り報告いたします

記

1) 2022年度収支決算報告書は2023年9月30日をもって終了する期間の

収支状況を適正に表示しているものと認めます

2) 領収書、現金出納簿、預金通帳、その他の付属資料は適正に整理されております

2023年10月13日

会計監査

岩本忠司 

議案 2. 2023 年度活動方針(案) (23 年 10 月 1 日~24 年 9 月 30 日)

北総鉄道の運賃値下げは、一部実現しました。

しかし、沿線から強い要望のある普通運賃は 11.6%の値下げで、依然京成本線の 2 倍という高いものですから、本格的値下げはこれからになります。その原資をどこに求めるかとなります。

親会社京成電鉄がその優越的地位を利用して、

- ① 北総鉄道区間(京成高砂—小室間)では、実質 1 円の線路使用料も払っていない
- ② 同区間で、京成が走ることによるアボイダブルコスト(電路や線路補修費、使用電力負担)不払い
- ③ 千葉ニュータウン鉄道区間(小室-印旛日医大)では線路使用料契約を変更(2022 年 10 月 1 日付け)されましたが、京成と北総の負担割合は大幅には改善されないようです。この両者の負担割合を是正し、取引の正常化を図るべきです。
- ④ 改めて、北総線運賃がいかに高いかを宣伝し、第三セクターで公共交通機関としての責任をはたすよう求める

この親会社と北総鉄道間の不公正な取引を正せば、北総線の運賃値下げ、それも京成本線並みの運賃を実現できます。今回の値下げは北総鉄道の枠内でできるギリギリのものだったと思われます。親会社京成がこの先も、第三セクターで公共交通機関である北総鉄道の高運賃という負担を沿線住民に押し付け続けるなど、許されるはずはありません。

私たちは言を左右にして運賃大幅値下げ(京成本線並みの運賃)を避けている京成・北総の逃げ道をふさぐ運動をしたいと思います。我々の運動を理解してくれる方々の力を借りて、行政を動かすことで実現したいと思います。

沿線の住民、利用者としてしっかり絆を深めながら、行政・議会の皆さんとも連携を図りながら大幅運賃値下げ実現に向けて以下の運動を展開します。

1. 「北総線運賃は京成本線並み(現行の半分)に」を普及し、大幅値下げの世論作りに努める。
2. 沿線住民の世論をしっかりしたものにしていく(京成の責任、国、県の責任を明らかにする)。北総線高運賃問題は、「異常な高運賃を是正して、社会的不公正・不正義を正し、沿線住民の暮らしを守るとともに地域の発展を願う取り組み」という共感と認識を一層広げるようマスコミや各界へ働きかけていきます。
3. 自治体・自治会・町会・市民運動に参加するサークル・団体の皆さんの協力を得ながら、様々な角度から世論作りをします。特に北総鉄道の株式を 22%以上保有している千葉県にはその責任を果たすよう強く求めたいと思います。また利用者の利便性向上の立場から、安全の問題・特別割引回数券の利用範囲拡大なども訴えて参ります。
4. 運動をさらに広げるために、会員募集に努めます。HP にも会員募集を掲げます。
5. 運動を継続するために、役員体制の変更=会則の改定を行います。

運動の進め方としては、従来行ってきた、メール・SNS・チラシ・電話・集会・陳情等々、可能な手法を駆使します。チラシの表現方法を工夫し一層親しまれるものにするよう努めます。

議案3. 2023年度予算(案)

2023年度予算(案)

(2023年10月1日~2024年9月30日)

収入の部

(単位: 円)

(単位: 円)

項目	2023年度予算	2022年度実績	摘要
前年度繰越金	424,185	302,890	
会費	90,000	116,000	
寄付金・協賛金	100,000	95,888	
受取利息	2	2	
合計	614,187	514,780	

支出の部

項目	2023年度予算	2022年度実績	摘要
講演会他	50,000	0	シンポジウム講師代・交通費等
会議費	10,000	4,760	定例会・役員会会議室利用料
ニュース作成、配布費			発行のチラシ用紙代・印刷代等
用紙代	0	0	
印刷代	215,000	6,400	
配布費	50,000	0	チラシ折込料
資料費	10,000	2,962	関係市町村・国土交通省資料コピー等
宣伝費、広報費	20,000	5,610	HP維持費等
事務用品費	10,000	13,021	封筒代・領収書・プリンタインク等
事業費、参加費他	20,000	50,422	イベント参加費用等
交通費	20,000	940	駐車場代・ガソリン代等
通信費	20,000	6,480	ハガキ代・郵送代
予備費	10,000	0	慶弔費
支出合計	435,000	90,595	
次年度繰越金	179,187	424,185	
合計	614,187	514,780	

議案4. 会則改定議案

別紙（9～10p）の通り

議案5. 2023年度役員選任の件

2023年度役員（候補）

共同代表	太田 誠	（印西市木刈）	・・・	渉外担当
同	金子 多喜子	（白井市七次台）	・・・	庶務担当
同	亀倉 良一	（印西市木刈）	・・・	広報担当
同	北田 實	（船橋市小室）	・・・	情報収集担当
同	間嶋 博	（白井市堀込）	・・・	事務局担当

運営委員	石塚 仁好	（白井市桜台）	・・・	庶務担当
同	遠藤 賢一	（印西市滝野）	・・・	庶務担当
同	梶原 清子	（白井市大松）	・・・	庶務担当
同	藤岡 敏夫	（白井市清水口）	・・・	庶務担当
同	藤森 義韶	（白井市池の上）	・・・	庶務担当
同	正木 英行	（白井市堀込）	・・・	会計担当
同				
同				
同				
同				

会計監査	岩本 忠司	（白井市堀込）
------	-------	---------

会 則

北総線の運賃値下げを実現する会

<はじめに>

北総線は千葉ニュータウンの大動脈かつ唯一の鉄道であり、1 時間以内で都心に到達でき、成田空港や羽田空港にも直結する空港アクセスの基幹部分を担うなど、沿線住民にとって欠かすことのできない存在である。このように重要な鉄道ではあるが、他の鉄道に比べ法外に高い運賃が通学生を持つ家計を圧迫し、進学における選択肢をせばめ、就職活動においても支障を来し、病院通いもままならない状況を作り出すなど沿線住民をはじめ利用者の生活に大きな影響を与えるとともに、沿線の発展を阻害する要因にまでなっている。

このような中、北総鉄道は、住民の悲願に押されて2022年10月1日、通学定期代64.7%の大幅値下げを柱とする、平均15.4%の大幅運賃値下げを実施した。これは永年の北実会の値下げ運動の成果であり、市民運動の重要性、有効性を示した。

しかし、値下げ後の新運賃も、なお京成本線の2倍の高さであり、更なる値下げが求められている。

「北総線の運賃値下げを実現する会」は、北総線を利用する通勤・通学者をはじめ、沿線住民が親しみを持って利用でき、ひいては地域社会の活性化が図られるよう、北総線運賃の適正化を求めて活動することを目的とする。

<名 称>

第1条 この会は、「北総線の運賃値下げを実現する会」(以下「本会」)と称する。また略称を「北実会」とする。

<目的>

第2条 本会は、利用者の利便その他公共の利益を阻害している北総線の運賃値下げを実現することを目的とする。

<活 動>

第3条 前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 毎月、定例会を開催し、会の運営・活動に関する重要事項について決定する。
- (2) 沿線住民の声を代弁し、関係各所に陳情・請願活動、要請活動、アピール活動を行い、必要ならば署名活動を行う。
- (3) 積極的に関係情報を収集し、北総線・成田スカイアクセス線を取りまく状況把握に努めると共に、経営上・法律上の諸課題の究明を行う。
- (4) 成田スカイアクセス線開業に伴う線路使用料・近距離激高運賃などの社会的不公正をいっそう解明し、広報活動、要請活動等を展開する。
- (5) 沿線住民に対し、広報活動を行うと共に、住民個人の生の声の関係各所に届くよう働きかけを行う。
- (6) 目的を同じくする沿線自治体、議会、議員、政党、沿線企業、住民等とも協力を図る。
- (7) 活動資金確保のため、募金、協賛金要請等を行う。
- (8) その他必要な活動を行う。

<事務所>

第4条 本会の事務所を、共同代表宅に置く。

<会 員>

第5条 本会の趣旨・目的に賛同する人・組織で、会費納入をもって会員とする。

<会 費>

第 6 条 会員の年会費を 2000 円とする。

<役 員>

第 7 条 本会に次の役員を置く。

- ・共同代表 若干名
- ・運営委員 若干名
- ・会計監査 1 名

本会の職務（渉外、調査、宣伝、事務局、会計等）は共同代表、運営委員間で分担して行う。

第 8 条 役員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

<会 計>

第 9 条 本会の運営は、会費、寄付金、協賛金、その他で賄う。

本会の会計年度は、毎年 10 月 1 日から翌年 9 月 30 日までとする。

第 10 条 収支決算は、会計年度ごとに会計監査による監査を受け、総会に報告される。

<総 会>

第 11 条 総会を年 1 回開催する。

第 12 条 総会は以下の事項を承認・議決。

- (1) 活動報告・会計報告
- (2) 会則の改廃
- (3) 活動方針
- (4) 役員を選出
- (5) その他、共同代表が必要と認める事項

第 13 条 共同代表が必要と認めたととき、臨時総会を開催できる。

<定例会、役員会等>

第 14 条 会員は自由に定例会に参加できる。共同代表、運営委員は必要に応じ役員会を開催し、緊急の意思決定をすることができる。その場合、次の定例会に報告し、承認を受けるものとする。

第 15 条 役員会・定例会等の召集は、共同代表がこれを行う。

<その他>

第 16 条 この会則に規定されていない事柄については、役員会で検討・決定し、定例会に報告する

附則 この会則は 1991 年 10 月 13 日開催の推進委員会にて承認され、同年 10 月 1 日に遡り実施する。

2003 年 11 月 12 日改正。

2004 年 8 月 25 日改正。

2005 年 10 月 27 日改正。

2006 年 10 月 25 日改正。

2010 年 10 月 23 日改正。

2013 年 10 月 26 日改正。

2017 年 11 月 8 日改正。

2023 年 11 月 5 日改正。